



# 授 業 計 画 書

名前：           サンプル2          

授業科目名	○○○○ (工学系)	授業対象生	▲▲▲▲
授業日時	▲▲▲▲	授業場所	▲▲▲▲
授業テーマ	□□□□□を用いた演算回路		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ □□□□□を用いた各種演算回路について説明することができる。</li> <li>・ 具体的な演算回路について計算することができる。</li> </ul>		
時間	組み立て・構成	内 容 の 要 点	教 材
15分	予習チェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に行った予習ノートを個別にチェックする（内容を確認し，取り組み状況に応じて成績に反映する）。</li> </ul>	
15分	確認テスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の授業内容（□□□□□の性質と基本回路）に関する小テストおよびその解説を行う。また，前回の内容に関する疑問点についての解説も行う。</li> </ul>	小テスト
3分	導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日の授業の目的・目標を提示し，授業内容と進め方について説明する。</li> </ul>	板書
40分	教科書の内容に沿って講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前に予習してきていることを前提に，要点を絞って講義を進める。</li> <li>・ 授業時間内に最大限の理解を促すように，講義中は学生が板書やスライドの書き写しだけに集中することのないようにする。具体的には，講義内容で重要な部分や予習で分からなかった部分について，予習したノートにメモする程度に留めるようにする。</li> </ul>	板書
15分	演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の授業内容に関する簡単な演習を行う。</li> </ul>	課題（A5サイズ の用紙を配付）
2分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の内容を予告し，予習箇所について教科書を使って説明する。</li> </ul>	教科書

計90分







# 授 業 計 画 書

名前： サンプル6

授業科目名	□□□□学（医療系；歯学）	授業対象生	▲▲▲▲
授業日時	▲▲▲▲	授業場所	▲▲▲▲
授業テーマ	・・・・・・・・による□□□□法（TBL講義）		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ・・・・・・・・伴う・・・・・・・・領域の変化に対して必要な診察，検査ならびに診断ができる[コアカリ：Z-9-9)-(9)-99]</li> <li>● ・・・・・・・・の製作過程における基本的手技ができる[コアカリ：Z-9-9)-(9)-99]</li> </ul>		
時間	組み立て・構成	内 容 の 要 点	教 材
10分	導入  確認テスト①（個人問題）	本日の授業内容と進め方に関する説明。  事前に配布した資料を元にした、本日の授業内容に関する確認テストの実施。（・・・・・・・・国家試験問題の利用、基本的な知識内容を問うもの）	確認テスト 予習レジュメ  教科書・参考書等
20分	確認テスト①の解答と補足説明（講義）	確認テストの解答と、レジュメ資料を用いた補足説明を行う。 ※実際の臨床的側面に沿った内容も盛り込んで説明する。 ※具体性を持たせるために、多くの臨床写真を利用することや、講義の後半にて、今回の講義に関するムービーを見せながら解説する。	予習レジュメ  講義スライド
15分	TBL 確認テスト②（グループ課題）	4～5人グループを形成させ、確認テスト②によるグループ課題に取り組ませる。各班で課題に対する答えをまとめさせて、代表者が発表できるよう準備する。 ※確認テスト①よりも、臨床的な内容を問う問題とし、臨床的な判断に至るまでの思考プロセスを経験させる。	確認テスト②
12分	TBL 課題の発表	各課題に対する答えを複数班の代表者に発表させて、その内容を全員で吟味する。 ※発表班以外のメンバーから質問させる。 ※理論立った説明になるよう指導する。	確認テスト②
3分	本日のまとめ	課題発表のまとめ 必要があれば補足説明	講義用スライド

計60分

# 授 業 計 画 書

名前： \_\_\_\_\_ サンプル7

授業科目名	〇〇学入門（社会学系）	授業対象生	▲▲▲▲
授業日時	▲▲▲▲	授業場所	▲▲▲▲
授業テーマ	〇〇学とは何か		
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇の複雑性・多様性について説明できる</li> <li>・ マイクロディベートを通じて政策論議を行うことができる</li> </ul>		
時間	組み立て・構成	内 容 の 要 点	教 材
3分	導入	・ 本日の授業概要の説明	配布レジュメ
7分	復習	・ 前回までの授業におけるポイントの確認	配布レジュメ
15分	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 〇〇の複雑性・多様性に関する概念の解説</li> <li>・ 各概念を分かりやすく伝えるために簡単な事例を踏まえつつ解説する。</li> </ul>	配布レジュメ
8分	ワークの説明	・ マイクロディベートの解説	配布レジュメ
12分	ワークの方法についての例示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディベートのやり方について見本を示す</li> <li>・ 数名の学生に協力してもらう</li> <li>・ ワークシートの記入方法の説明</li> </ul>	配布レジュメ ワークシート
40分	ワークの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ分け（3人～4人1組）</li> <li>・ 課題についてのディベートを実施</li> <li>・ テーマを変えて3回実施</li> <li>・ 1回ごとに講評を行う</li> </ul>	配布レジュメ ワークシート
5分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業全体の講評</li> <li>・ 次回の授業内容の予告</li> </ul>	配布レジュメ

計90分